

12月15日 プラチナ未来人財育成塾
未来に向けて。中学生が参加報告

未来のリーダーを育てる目的で、昨年夏に開催された「プラチナ未来人財育成塾@二子玉川」に参加した市の代表生徒8人が菊池市役所で報告会を行いました。著名な講師の講演を聞き、それぞれの考えを発表しました(関連10・11頁)。



「未来の社会と自分について考える」のテーマ通り、生徒たちは未来の社会に自身がどう関わっていくかをスピーチしました

12月20日・25日 宝くじ助成金事業
宝くじの助成金で施設を整備

宝くじの社会貢献広報事業として、一般社団法人自治総合センターのコミュニティ助成整備事業で、神来区と上西寺区に公民館や無線放送システムなどが整備されました。安全確保やコミュニティ活動の活性化が期待されます。



写真① 上西寺区では公民館が建て替えられました
写真② 神来区の公民館に整備された無線放送システム。その他、エアコンが設置されました

10月16日 第9回身近な風景自慢フォトコンテスト
応募作品46点の中から入賞作が決定。最優秀賞2点を紹介します

菊池市の身近な自慢の風景を募集したところ、46点の応募がありました。投票と審査で最優秀賞2作品、優秀賞4作品が選定されました。優秀賞の作品はホームページでご覧いただけます。 ホームページ→



「桜よ今年も、ありがとう。シアワセだよー」
山田隆博さん(七城島)



「私の住む街～菊池～」
山口碧海さん(戸豊水)

撮影場所…市ふるさと創生市民広場

12月13日 廣現寺(隈府)
本堂に巨大な竜が出現

廣現寺(秋吉頭誓住職)の本堂に、今にも動き出しそうな2体の竜が出現し、見る人を圧倒しています。西南戦争で焼失した本堂の天井には雲龍図があったと伝わっており、竜を復活させようと同寺が計画し、職人の手で制作されました。



秋吉住職は「多くの人に見てもらい、菊池を盛り上げたい」と期待しています。 ☎0968(25)4030

12月15日 全日本瓦工事業連盟
増永洋さんが表彰

エコ・マスナガ(旧増永瓦工業所・大琳寺)の増永洋代表が「(一社)全日本瓦工事業連盟」から感謝状を授与され、報告のため市役所を訪れました。これは長年に渡り、瓦に関する技術の継承と後継者育成を評価されたものです。



増永さんは「瓦施工の技術を未来につなぐために、今後も活動していきたいです」と話しました

11月15日 菊池地区納税貯蓄組合連合会
税について、正しい知識と関心を

菊池地区納税貯蓄組合連合会が主催する作品表彰式が市文化会館で開催されました。中学生作文の部・標語の部、小学生書道の部に菊池郡市の小中学校から約3,100点の応募があり、本市から14人が入賞しました。



この「税に関する作品」は児童・生徒の皆さんに、税の正しい知識と関心を高めてもらうことを目的として毎年開催されています

12月13日 (株)リョーユーパン
災害備蓄用の「非常食パン」を寄贈

(株)リョーユーパン(福岡県大野城市)の北村俊策会長が市に災害時の非常食となる備蓄用パン3,000個を寄贈。昨今、九州で災害が多発していることから、北村会長が地域社会に貢献したいと市に贈られました。



いただいた非常食パンは、災害発生時に住民の皆さんに提供する予定です

12月13日 (株)KDS菊池自動車学校
外国人の交通安全に向けて市と連携

市は(株)KDS菊池自動車学校と包括連携協定を締結しました。同社は日本語が分かる外国人を雇用し、外国人向けに交通安全教室を実施しています。協定には防災対策や多文化共生社会の推進などを盛り込み、地域活性化に取り組みます。



永田佳子社長は「これからも地域のために貢献していきたい」と話しました

11月6日 次代へ繋ぐ経営力向上セミナー
官民連携で事業承継をサポート

市内の中小企業・小規模事業者や顧客を対象とした「事業承継連携支援kick offセミナー」を菊池グランドホテルで開催しました。参加者は、事業承継を契機とした経営改善や事業承継の必要性などを学びました。



第1部は、神奈川県鶴巻温泉にある老舗旅館「元湯陣屋」4代目女将の宮崎知子さんをお招きし、基調講演を開催しました。市商工会では、市内事業所を対象に事業承継個別相談会を行っています。 ☎0968(25)1131

12月4日 菊池女子高校
生徒が韓国のごospelグループと交流

菊池女子高校でクリスマスコンサートが開催され、韓国のごospelグループ「オンギジャンイ」が歌声を披露しました。生徒たちは着物やお茶など、日本の伝統文化でおもてなし、交流を深めました(詳細26頁)。



生徒の前でごospelを歌う「オンギジャンイ」の皆さん

12月13日 ジスコ不動産(株)
企業版ふるさと納税を寄付

ジスコ不動産(株)(長崎県諫早市)が、市に企業版ふるさと納税を寄付しました。地方創生プロジェクトへ寄付を行った場合に税控除が行われる仕組みで、寄付金は子育て世代移住支援事業へ活用していきます。



徳永耕一代表取締役は「ご縁を機に、引き続き菊池市の定住促進を支援していきたい」と話しました